

環境衛生課からの お知らせ

環境衛生課（吉備庁舎）
清水行政局 建設環境室

〈ごみ分別すれば資源〉

年末年始のごみ収集

年末年始は環境センターとプラスチック収集場が休業することに伴い、ごみ収集を行わない日があります。ご注意ください。

なお、詳細につきましては回覧物や町ホームページなどでお知らせします。

子ども服リユース運動

保護者の皆さまから「使わなくなったけれど、捨てるにはもったいない」という子ども服を無償でご提供いただき、それを必要とするご家庭で再利用（リユース）できる仕組みが、子ども服リユース運動です。この運動に参加することは、資源の無駄を減らし、地域の持続可能な成長に役立つ活動です。

参加方法

①町立保育所、支援センターに設置している古着リユース回収箱に古

着を入れてください

※この時点で役場の所有物になります。

②古着リユース回収箱に入れていた

だいた子ども服はイベントなどの機会を通じてバザーを行います。

※100円程度の協力金をいただきます。また残った古着はリサイクル業者にお渡しします。

③いただいた協力金は、保育所の絵本の購入などに活用します。

注意

・おむね6歳児用までの子ども服を対象とします。

・必ず洗濯した上で、きれいに畳んで回収箱に入れてください。

※そのままの状態では販売しません。

・子ども服の転売は固くお断りします。



動物愛護フェスティバル

和歌山県と和歌山県獣医師会主催の動物愛護フェスティバルが、10月22日（日）にきびドームで開催されました。このフェスティバルは、動物の愛護と適切な飼い方に対する理解と認識を深めることを目的としています。

アドベンチャーワールドからミニチュアホース、ヤギ、ウサギ、モルモットがやってきて、訪れた方々は動物たちとの触れ合いを楽しみました。さらに、災害時のペットとの避難について考える講演などが行われました。来場者の方にとっては、動物たちとの触れ合いを通じて、動物の大切さと保護の重要性について学び、感じる事ができたのではないのでしょうか。



<講演会の様子>

家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和5年（2023年）9月／約282トン
前月から約30トンの減少

最近よく「SDG s（エス・ディー・ジーズ）」という言葉を目にします。

これは国連が定めた「持続可能な開発目標」の呼び名です。

ごく簡単に言うと「みんなが幸せで快適な生活を送れるような未来を作るための目標」でしょうか。

私たち生活者が直接SDG sに取り組める活動の一つがごみの減量化です。例えば、リユース服を選ぶことやコンポストを利用して生ごみの量を減らすこともSDG s達成に向けた大切な取り組みです。

より良い地球の未来のためにごみを減らしましょう！



<会場の様子>